

大阪空港でJAL不当解雇 撤回宣伝行動おこなわれる

9月30日、大阪空港JALターミナルでJAL不当解雇撤回の宣伝行動が行われ、当該原告団をはじめ、大阪支援共闘会議、京都支援共闘会議など46人が参加しました。「JAL闘争を支える京都の会」からも参加しました。ビラの入ったティッシュペーパーを配布しましたが、通行される方の7割か8割が受け取っていただきました、



(ウラ面に続く)

JAL客乗原告団の神瀬さん、客乗原告団団長の内田さんらがマイクでアピールをおこないました。そして代表団がJAL空港支店に要請行動をおこないました。
最後に今日の行動の報告とまとめがおこなわれました。



日本航空不当解雇撤回闘争は、昨年秋の不当労働行為事件の勝利判決の確定等を踏まえ、被解雇者を組織する当該労組（乗員組合、CCU）の統一要求に基づき、日本航空に争議の早期解決を迫るといふ、新たな段階に入っています。

日本航空不当解雇撤回国民共闘は、当該労組の交渉申し入れに呼応した運動を展開するとともに、何としても日本航空を解決交渉のテーブルに着かせるために、不当労働行為事件の勝利判決から1年目を迎える9月23日に向け、各地での宣伝行動と日航への要請文提出行動を全国規模で取り組むとの方針を確認しました。今回の大阪空港での宣伝行動・日航大阪空港支店要請はその一環として取り組まれたものです。

JALターミナル前での宣伝行動はJAL経営陣に対するプレッシャーになるなと思いました。今後も行動を強め、日本航空を解決交渉のテーブルに着かせましょう。

